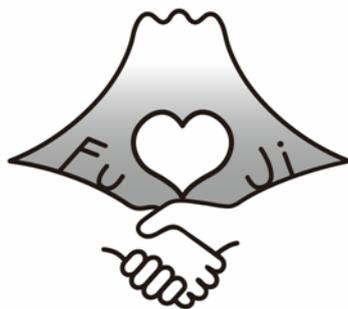


令和元年度

事業報告書



社会福祉法人
富士市社会福祉協議会
法人設立**50**周年

拡げよう 福祉と心の 大きな輪

目次

1. 概要.....	1
2. 会議開催状況.....	3
3. 事業実施状況.....	8
【広報啓発事業】	8
【地域福祉推進事業】	10
【生活支援体制整備事業】	14
【ボランティア活動育成事業】	15
【福祉相談事業】	22
【援護事業】	23
【共同募金運動】	25
【生活困窮者自立相談支援事業】	26
【貸付事業】	27
【日常生活自立支援事業】	28
【成年後見支援センター事業】	29
【法人後見事業】	30
【介護サービス事業】	31
【障害者就労支援施設等の運営】	32
【社会福祉センターの運営】	34
【生きがいデイ・健康づくりデイサービス事業】	35
【その他の事業】	36
【社協会費・寄附金の募集】	38

1. 概要

新たな元号となった令和元年度は、日常生活圏域での住民主体の支え合い・助け合い活動について協議を進める一方で、既存事業の整理や補助金の見直しなども行い、各種事業の充実強化を図るとともに地域共生社会の実現に向けた取り組みを進めました。

社協の活動指針となる地域福祉活動計画においては、4年目を迎えた「第4次地域福祉活動計画」の事業の進捗状況や目標の達成状況等を確認するとともに、令和3年度からの「第5次地域福祉活動計画」策定に向けての準備を進めました。

また、各地で発生した豪雨災害等の被災地に職員を派遣して支援を行ったことにより、日常的な地域の「つながり」の重要性を改めて実感し、福祉を軸にした地域づくりの大切さを再認識することができました。

以下、令和元年度事業計画における重点目標を中心に事業執行状況を報告いたします。

<令和元年度の重点目標>

1. 結婚相談縁結び支援事業（ハッピネスF u j i）の充実
2. 生活困窮者自立支援事業の充実強化
3. 成年後見支援センターの機能充実と市民後見人への支援・監督業務の強化
4. 生活介護事業所吉原つくしの移転新築計画の推進
5. 行政との関係強化と社協法人設立50周年記念事業の推進

1. 結婚相談縁結び支援事業（ハッピネスF u j i）の充実

本会が、昭和49年から取り組み始め、市の委託事業となり3年目を迎えた本事業は、本年度の結婚成立件数が11組と前年度の3組から大幅に増加し、「マッチング支援システム」の導入や相談日時・場所・体制など機能を強化したことに対する一定の成果を出すことができました。

また、日中仕事で来所できない方のために夏季の一部は夕方に相談を行うなど会員の利便性向上のための取組みを行うとともに、パーティー形式の相談についても、毎年行う「ハッピネスF u j i 会員」限定の「出会いふれあいパーティー」の開催に加え、本年度は本事業と沼津市公認婚活サポーター「縁結び隊」との協働事業として、両会員向けの「しあわせS w e e t 出逢いパーティー」を沼津市で開催し、広域的に新たな登録者の獲得と良縁の提供を行いました。

2. 生活困窮者自立支援事業の充実強化

「くらし・しごと相談窓口」として生活に困窮されている方の支援を行う生活困窮者自立支援事業につきましては、本年度から新たに「住居確保給付金」事務を市より受託し、生活の基盤となる住居を確保するための支援に取り組みました。また、職員を市の生活支援課に派遣することで、関係各課や生活保護との連携を強化し、相談業務の充実強化を図りました。

令和2年度に向けては、市のユニバーサル就労支援センターの再編に伴い、本事業の委託業者を決定するプロポーザルに株式会社東海道シグマと共同事業体として臨み、令和4年度までの3年間の受託契約が決定しました。

3. 成年後見支援センターの機能充実と市民後見人への支援・監督業務の強化

市民後見人の名簿登録者については、第3期生の養成研修修了者6名とこれまでの終了者と併せて35名となりました。現在、市民後見人個人受任を目指して継続研修及び日常生活自立支援事業の生活支援員として研鑽を重ねています。

そうした中、令和元年度は新たに2名が市民後見人として家庭裁判所の選任を受け、計4名の市民後見人が活動中です。家庭裁判所から、社協の法人後見及び市民後見人監督業務が認識されてきたものと感じています。

また、将来国が目指す地域権利擁護支援のネットワークづくりと成年後見制度の利用者がメリットを感じられるような受任調整機能の在り方について検討を行いました。

4. 生活介護事業所吉原つくしの移転新築計画の推進

生活介護事業所吉原つくしの広見地区への移転新築計画については、7月に国から補助金採択の内示を受け、9月に建設工事に着工しました。その後も順調に進み、2月28日には施設の引渡しを受けました。新たな名称を「オリーブの丘」に決定し、利用定員は20名に増員。「ゆったり 楽しく 自分らしく」をモットーに、利用者が心地よくゆったり過ごしていただけるよう施設運営を進めてまいります。

5. 行政との関係強化と社協法人設立50周年記念事業の推進

本年度も行政との円滑な関係を継続するため、市福祉こども部・保健部との懇談会や、市長・副市長、市議会議長・文教民生委員との懇談会を実施し、社協の現状を共有いただく中で、行政・市議会との関係強化を図りました。また、関係課との協議のもと、本年度受託事業の契約内容の見直しを行ったことから、事業の適正化を進めることが出来ました。

また、令和2年の法人設立50周年に向けては、実行委員会を4回開催し記念誌や記念式典の準備を進めました。さらに記念事業のシンボルマークや福祉の標語を公募の上で本報告書の表紙記載の通り制定し、様々な場面で活用することで気運の醸成を行いました。

その他、重点目標以外については、財政部会による本会補助金交付団体へのヒアリングを実施し、活動内容や予算執行状況を確認することにより補助金の適正化を図りました。

市より指定管理を受けている社会福祉センターでは、特に交通の便が悪い東部市民プラザにおいて、8月より本会障害者就労支援事業所まつぼっくりの送迎車両を活用した送迎サービスを開始し、利用の促進を図りました。

平成30年度から取り組んでまいりましたBCP（事業継続計画）策定につきましては、各部署ごとの計画策定が完了しました。今後は感染症対策なども踏まえ、より精度の高い計画となるよう訓練や研修などを通して検証してまいります。

また、介護サービス事業においては、富士川デイサービスセンターにおいて利用者の健康増進や機能回復などの充実を図るため、体組成計測の新たな機器を導入し活用を始めました。

さらに、3月25日からは新型コロナウイルス感染症による休業や失業等により、収入が減少した世帯を対象として、その生活を支援するための緊急小口資金等の特例貸付を開始しました。

2月後半以降は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議や講座等中止した事業もありましたが、令和元年度の諸事業は、概ね順調な事業執行となりました。

2. 会議開催状況

1. 理事会

	場 所	会 議 事 項
第1回 R1. 6.11	フイナンセ東館 ボランティアルーム	議第1号 平成30年度事業報告について 議第2号 平成30年度決算について (監事監査報告について) 議第3号 令和元年度補正予算について(第1号) 議第4号 役員選任候補者の推薦について 議第5号 定時評議員会の招集について ○第2回理事会の招集手続きについて ○吉原つくし生活介護移転建設について ○社会福祉大会の社協会長表彰・感謝状対象の改正について ○苦情解決第三者委員について ○社協法人設立50周年記念事業の進捗について ○社会福祉協議会会費依頼について
第2回 R1. 6.25	フイナンセ東館 ふくし体験室	議第6号 会長、副会長及び常務理事の選定について ○成年後見等審査委員について ○補助団体へのヒアリングにかかる財政部員の指名について
第3回 R1. 8.23	フイナンセ東館 ボランティアルーム	報第1号 会長及び常務理事職務執行状況報告 議第7号 令和元年度富士市社会福祉協議会会長表彰及び 感謝状贈呈候補者について 議第8号 吉原つくし生活介護事業所の移転に伴う、建設 費用の借入について 議第9号 評議員選任候補者の推薦について 議第10号 評議員選任委員会の招集について ○令和元年度敬老会について ○社協法人設立50周年記念事業の進捗について ○平成30年度苦情概要について ○令和2年度採用正規職員の募集について ○社会福祉協議会会費収納状況について(中間報告) ○第39回市民福祉まつりにについて

	場 所	会 議 事 項
第 4 回 R1. 11. 22	フィナンセ東館 ボランティアルーム	<p>報第 2 号 令和元年度上半期事業会計監査実施報告</p> <p>報第 3 号 財政部会答申について</p> <p>議第14号 令和元年度補正予算について (第 2 号)</p> <p>議第15号 評議員会の招集について</p> <p>○令和元年度歳末たすけあい運動について</p> <p>○吉原つくし生活介護移転建設計画の進捗状況について</p> <p>○令和 2 年度採用職員の募集結果について</p> <p>○被災地支援に伴う職員派遣について</p> <p>○社協法人設立 5 0 周年記念事業の進捗について</p> <p>○社会福祉協議会会費収納状況について</p> <p>○赤い羽根共同募金収納状況について (中間報告)</p> <p>○市民福祉まつり、社会福祉大会の報告について</p>
第 5 回 R2. 1. 24	フィナンセ東館 ボランティアルーム	<p>報第 4 号 会長及び常務理事職務執行状況報告</p> <p>議第16号 評議員選任候補者の推薦について</p> <p>議第17号 評議員選任委員会の招集について</p> <p>○次年度の生きがい・健康づくりデイサービスについて</p> <p>○赤い羽根共同募金収納状況について</p> <p>○歳末たすけあい運動募金収納状況及び配分結果について</p> <p>○社協法人設立 5 0 周年記念事業の進捗について</p> <p>○第 5 次地域福祉活動計画策定スケジュールについて</p>
第 6 回 R2. 3. 17	フィナンセ東館 ボランティアルーム	<p>報第 5 号 専決処分の承認を求めることについて (社会福祉法人富士市社会福祉協議会給与規程等の一部を改正する規程の制定)</p> <p>報第 6 号 会計業務点検実施結果報告について</p> <p>議第18号 令和元年度補正予算について (第 3 号)</p> <p>議第19号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会給与規程等の一部を改正する規程の制定について</p> <p>議第20号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程の制定について</p> <p>議第21号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会障害サービス室組織規程の一部を改正する規程の制定について</p> <p>議第22号 令和 2 年度事業計画について</p> <p>議第23号 令和 2 年度予算について</p> <p>議第24号 評議員会への提案について</p> <p>○生活介護事業所オリーブの丘開所について</p> <p>○社協 B C P (事業継続計画) の策定について</p> <p>○社協法人設立 5 0 周年記念事業の進捗について</p> <p>○新型コロナウイルス感染拡大予防への対応について</p>

2. 評議員会

	場 所	会 議 事 項
定時 (第1回) R1. 6.25	ファイナセ東館 ボランティアルーム	議第1号 平成30年度事業報告について 議第2号 平成30年度決算について (監事監査報告について) 議第3号 令和元年度補正予算について(第1号) 議第4号 役員の選任について ○吉原つくし生活介護移転建設について ○社協法人設立50周年記念事業の進捗について
第2回 R1. 12. 10	ファイナセ東館 ボランティアルーム	報第1号 令和元年度上半期事業会計監査実施報告 議第5号 令和元年度補正予算について(第2号) ○吉原つくし生活介護移転建設計画の進捗状況について ○令和2年度採用職員の募集結果について ○被災地支援に伴う職員派遣について ○社協法人設立50周年記念事業の進捗について ○社会福祉協議会会費収納状況について ○赤い羽根共同募金収納状況について(中間報告) ○令和元年度歳末たすけあい運動について ○市民福祉まつり、社会福祉大会の報告について
(第3回) R2. 3.26 決議	(書面決議)	議第6号 令和元年度補正予算について(第3号) 議第7号 令和2年度事業計画について 議第8号 令和2年度予算について ※以上、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面により決議 報第2号: 会計業務点検実施結果報告について ○生活介護事業所オリーブの丘開所について ○社協法人設立50周年記念事業の進捗について ○第5次地域福祉活動計画策定スケジュールについて ○次年度の生きがい・健康づくりデイサービスについて ○社協活動報告 ○社協事務分担表

3. 評議員選任委員会

	場 所	会 議 事 項
第1回 R1. 9.19	フィナンセ東館 社協相談室	議第1号 評議員の選任について
第2回 R2. 2.26	フィナンセ東館 社協相談室	議第2号 評議員の選任について

4. 監 査

	場 所	会 議 事 項
R1. 5.30	フィナンセ東館 社協相談室	○平成30年度決算 会計及び業務監査
R1. 11.11	フィナンセ東館 社協相談室	○令和元年度上半期 会計及び業務監査

5. 財政部会

	場 所	会 議 事 項
第1回 R1. 7.29	フィナンセ東館 社協相談室	○社協の財政状況について ○補助金の交付状況について ○補助金審査について
第2回 R1. 9.25	フィナンセ東館 社協相談室	○補助団体ヒアリング審査（8団体）
第3回 R1. 10. 3	フィナンセ東館 社協相談室	○補助団体ヒアリング審査（6団体）
第4回 R1. 11.13	フィナンセ東館 社協相談室	○答申案協議

6. 共同募金委員会

	場 所	会 議 事 項
R1. 8.23	フィナンセ東館 ボランティアルーム	○令和元年度赤い羽根募金実施計画について ○令和元年度歳末たすけあい運動実施計画について ○街頭募金について

7. 苦情解決第三者委員会

	場 所	会 議 事 項
R1. 8. 1	ファイナンセ東館 社協相談室	○令和元年度苦情解決体制について ○平成30年度の苦情等の事例報告

8. 正副会長会

	場 所	会 議 事 項
第1回 R1. 6. 4	ファイナンセ東館 社協相談室	○第1回理事会について ○6月会議日程について
第2回 R1. 8. 20	ファイナンセ東館 介護相談室	○第3回理事会について ○8月から12月の会議日程について
第3回 R1. 11. 19	ファイナンセ東館 社協相談室	○第4回理事会について ○11月以降の会議日程について
第4回 R2. 1. 21	ファイナンセ東館 社協相談室	○第5回理事会について ○2月以降の会議日程について
第5回 R2. 3. 12	ファイナンセ東館 社協相談室	○第6回理事会について ○4月以降の会議日程について

3. 事業実施状況

【広報啓発事業】

(1) 富士市社会福祉大会

社会福祉関係者の表彰及び記念講演等をロゼシアターで開催した。

- ・開催日 11月7日(木)
- ・開催場所 ロゼシアター 中ホール
- ・参加人員 約500人
- ・内容 表彰式 被表彰対象者 122人
- ・活動発表 「富士市障害者就労機能パワーアップ事業の取り組み」
発表者 NPO法人 富士市手をつなぐ育成会
パワーアップ事業部 保坂真理さん
- ・講演 「夢に向かって」
講師 ゴールボール女子日本代表
ロンドンパラリンピック金メダリスト
安達阿記子さん



福祉大会 表彰式



福祉大会 講演

(2) 社協の広報活動

市民に広く社協への理解をいただくため、また、事業等で社協を活用していただくため、全戸に広報紙「お元気ですか」を配布すると共に、ウェブサイトの充実を図り、さらに市内のコミュニティーエフエム（ラジオエフ）の放送に社協役職員やボランティアが出演、また、社協への寄附や事業実施時等に報道メディアへの情報提供を積極的に実施するなど、様々な広報啓発活動を行った。

①広報紙『お元気ですか』の発行

会員である市民に対し、読みやすく分かりやすい福祉情報を発信すると共に、社協への理解を高めるために年4回発行した。

- ・ 6 / 20号 社協事業の紹介 他
- ・ 9 / 20号 夏休み福祉なんでも学習・福祉教育 他
- ・ 新年号 法人設立50周年 他
- ・ 3 / 20号 災害ボランティアの取り組み 他

広告協賛企業（敬称略）

ロゼ にじいろクリニック（医療法人財団新六会）	4回
小松クリニック（医療法人社団青葉会）	4回
介護老人保健施設ききょうの郷 （湖山医療福祉グループ）	1回
癒しエステサロンR i r i y a	1回

②ラジオエフの活用

月1回（最終水曜日）放送の「はあとふるトーク」に役職員、地域住民、ボランティア等が年間12回出演し、社協事業のPRに努めた。また、災害時の連携を視野に入れた防災パートナーズスポットCMを毎月1回実施。その他、随時社協事業の広報媒体として協力を求め活用をした。

③ウェブサイトの充実

ICT（情報伝達技術）時代に応じた見やすいサイトを追求するとともに、わかりやすい福祉情報の発信に努めた。また、速報性の高い情報に関しては随時更新を行った。

④報道メディアへの情報提供を通じた事業等の周知

報道メディアに社協や福祉推進会等の事業及び社協への寄附等の情報を積極的に提供し、紙面や報道を通じて事業等の周知を行った。

（5）第39回市民福祉まつりの開催

ノーマライゼーションの理念に基づき、あらゆる人が気軽に心地よくふれあう場を創出し、福祉への理解を深め、共に生きるまちづくりをすすめることを目的に開催した。当会は、このまつりの実行委員会の事務局を担っている。

テーマ：であい ふれあい わかちあい

- ・ 日 時 10月20日（日） 午前9時30分～午後3時00分
- ・ 場 所 中央公園西側イベント広場
- ・ 参加者 約25,000人

- ・内 容
 - ステージ部門 福祉施設などの音楽、劇、ダンスの披露
 - 福 祉 部 門 障がいの理解を深める福祉体験と来場者サポート
 - バザー部門 福祉施設や各種団体による模擬店及びバザー
 - 子ども部門 ゲーム、紙芝居などで、みんなで楽しくふれあう場
 - 啓 発 部 門 介護関連商品の展示及び体験など福祉情報の発信
 - 総 務 部 門 まつり本部運営や駐車場、交通案内、警備等の連絡調整
- ・主 催 市民福祉まつり実行委員会



福祉まつり ステージ発表



福祉まつり 来場者サポート

【地域福祉推進事業】

(1) 地区福祉推進会

①地区福祉推進会の活動支援

「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、市内26地区の「地区福祉推進会」ごと担当職員を配置し、その地区に必要な資源開発・育成を行い、支え合い助け合いのまちづくりを地域住民の皆さんと共に実施した。



元吉原地区 親子ふれあい交流会



須津地区 シルバーウィークふれあい訪問

各地区活動状況

地区名	発足年度	主 な 事 業		
富士南	昭和63年	地域見守り活動	学校行事への協力	高齢者お楽しみ会
富士見台	平成元年	ぼらんていあスクール	ふるさと伝承	ふれあい交流会
今 泉	〃	高齢者見守り活動	中学生福祉体験	顔の見える関係づくり
吉 永	〃	ひとこえ会	愛の家庭訪問	ふれあい歌声喫茶
天 間	平成2年	ふれあい昼食会	住民福祉講座	七五三奉納相撲大会
須 津	平成3年	ホットひといき広場	シルバーウィークふれあい訪問	ふれあい昼食会
岩 松	平成4年	高齢者等支援事業	かりがねまつり	サロンへの支援活動
富士駅南	平成6年	福祉フェスティバル	住民福祉ネットワーク	ボランティアサポート
丘	平成7年	七夕まつり	高齢者おせち配食	福祉講座
浮 島	平成8年	ふれあい交流会	ふれあい昼食会	愛の声かけ訪問
原 田	〃	バンク仕事体験	ふれあい配食	サロン交流会
元吉原	平成9年	ふれあい配食	親子ふれあい交流事業	ふれあい昼食会
鷹 岡	平成10年	三世代交流会	ふれあい昼食会	福祉講演会
伝 法	〃	中学生福祉体験	ふれあい交流会	ふれあい配食
富士駅北	〃	ふれあいの集い	障がい者との交流事業	福祉講演会
吉 原	平成12年	ふれあい昼食会	ふれあい交流会	絵手紙慰問
田子浦	〃	ふれあい配食	住民福祉講座	ふれあい昼食会
岩松北	平成13年	梅まつり福祉バス運行	ふれあい昼食会	放課後児童クラブとの交流
青葉台	〃	防災グッズ配布	うたごえサロンつぼみ	クリーン&ウォッチャー
神 戸	〃	ふれあい交流	ホッとともっと広場	神戸福祉寄席
広 見	平成14年	福祉フェスティバル	サロン交流会	ふれあい昼食会
吉永北	平成15年	ふれあい配食	ふれあい訪問	昔あそび体験
富士北	平成16年	こえかけネット	ふれあい配食会	福祉講演会
大 淵	〃	こえかけ運動	あいさつ運動	ふれあい配食
富士川	平成21年	富士川一中地域交流体験	サロンへの支援	セキュリティシステム
松 野	〃	福祉委員研修会	男の料理教室	健康運動推進講座

②地区福祉推進会連絡会の活動支援

各地区福祉推進会の事業活性化のために情報交換を行った。富士市内における実践報告をもとに地区の課題や今後取り組んでいきたいことについて、ブロックごとの話し合い等を行った。また、第5次地域福祉活動計画および地区版地域福祉活動計画の策定に向けての説明を行うため臨時会議を開催した。

<正副会長会議>

- 5月13日(月) 令和元年度の事業・研修会について
9月25日(水) 生活支援体制整備事業講演会について
第5次地域福祉活動計画の策定に向けて
1月29日(水) 生活支援体制整備事業講演会の振り返り
令和2年度以降の生活支援体制整備事業の動きについて

<全体事業>

- 6月10日(月) 富士市地区福祉推進会連絡会
事業報告及び事業計画
実践報告「中野台草取りクラブの活動紹介」
中野台草取りクラブ 連絡役 大滝 修 氏
12月 9日(月) 生活支援体制整備事業講演会に参加

<臨時会議>

- 2月25日(火) 第5次地域福祉計画および第5次地域福祉活動計画に関する説明

③見守り・生活支援活動の実施(小地域福祉ネットワーク事業)

各地区及び各地域の中で、要援護者に対し見守り活動を展開し、安否を確認した。

- <富士南地区> 小中学生を見守る毎日の防犯パトロールを実施
<吉永地区> 近隣の方(ひとこえ会)が日常的な安否確認を実施
<岩松地区> 近隣の方(みまもり隊)が日常的なこえかけを実施
<富士駅南地区> 住民福祉ネットワークで高齢者宅を誕生日等に訪問
「地域支え合いマップ」の作成
<富士駅北地区> 近隣の方(見守り協力者)が日常的な安否確認を実施
<富士北地区> 近隣の方(こえかけボランティア)が日常的なこえかけを実施
<大淵地区> 回覧版を手渡しで行い、安否確認を実施
生活上の困りごと対応 「城山町お助け隊」支援
<原田地区> 地区民生委員と推進会委員で見守りが必要な世帯に
年1回訪問。その後は、推進会委員による見守りを実施。
地区定例会ごとに状況報告を行っている。

(2) ふれあい・いきいきサロンの推進

ふれあい・いきいきサロンは、日常生活の基盤である地域社会において、高齢者や障がい者の孤独感等の解消並び介護予防を目的とした組織。ふれあい・いきいきサロンを地域住民が自主的・自発的に取り組み、地域にとけ込んだふれあいと見守りの場となりえるよう支援した。

- ・対象 家に閉じこもりがちな高齢者・障がい者等
- ・利用料 無料
- ・開設数 164カ所 (3月31日現在、休止中を除く)
- ・サロンボランティア研修会

市内全サロンを対象とし、講師に「静岡県レクリエーション協会理事長 瀧康秀氏」氏を招き、持ち帰って実践できるレクリエーションや軽運動に関するサロンボランティア育成研修を行った。

開催日 10月28日(月)

場 所 フィランセ

参加者 91人

【地域福祉活動計画による令和元年度の主な取組目標】

- ①サロン開設数 195ヶ所
- ②モデル地区への支援 2ヶ所

【実績】

- ①サロン開設数 164ヶ所

今年度については各サロンへの情報提供に力を入れ、企業の社会貢献活動に繋げる形での情報提供を計4回行った。

(3) こども食堂への補助

子どもたちが放課後等に食事や学習、地域交流を通じて安心して過ごせる居場所であるこども食堂への助成を行い、子どもを孤立させない地域づくりを支援した。

- ・助成先 2件 こども食堂富士見台
NPO法人ゆめ・まち・ねっと 0円食堂

(4) さわやかコール事業

ひとり暮らし高齢者の安否確認を目的に、民生委員児童委員を通じて申し込みをおこない、委託先の方がひと声かけながら乳酸菌飲料(ヤクルト)を宅配するサービスを実施。声かけ時に応答がないなど安否が確認できなかった際には、担当の民生委員児童委員や緊急連絡先等に確認をしたほか、必要に応じて職員が訪問し安否確認を行った。

- ・委託先 中央静岡ヤクルト販売㈱
- ・訪問日 週3回が基本

【地域福祉活動計画による令和元年度の主な取組目標】

- ①利用者数（月平均） 495名
- ②関係機関との連携強化

【実績】

- ①利用者数（月平均） 464名
- ②包括支援センターと民生委員の連携によって新規申請に至ったケースが4件。
ヤクルトと民生委員間での見守り情報共有も密に行われ、利用者の状況に合わせた変更連絡も円滑に行われている。

(5) 地域活動団体への助成

・地域福祉活動費（町内会）	2,612,900円
・民生委員児童委員活動実費弁償費	429,000円
・民生委員児童委員協議会活動費助成	300,000円
・女性ネットワーク富士活動費助成	100,000円
・人権擁護委員会助成	70,000円

(6) 地域福祉活動計画の進捗評価

第4次地域福祉活動計画について、全ての事業に渡り、平成30年度までの評価検証を実施した。併せて、第5次地域福祉活動計画の策定に向けて、行政等関係機関との連携を行った。

【生活支援体制整備事業】

(1) 第1層生活支援コーディネーター業務の推進

生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的に、富士市より※第1層コーディネーター業務を受託し、市全域で支え合い・助け合い活動が広がるよう基盤整備と関係機関ネットワークの構築などを行った。また、生活支援体制の深化のため、市民向け講演会を開催した。

- ・第1層協議体会議
 - 6月26日（水） 講演会アンケート結果、今年度の市民向け啓発事業
 - 10月1日（火） 生活・介護支援サポーターの地域展開についてグループワーク
 - 1月20日（月） 買い物支援への取り組みについて

- ・生活支援コーディネーター連絡会
 - 6月17日（月） 各地区の活動報告、生活・介護支援サポーターの地域展開について
 - 9月24日（火） 各地区の活動報告、生活・介護支援サポーターの地域展開について
 - 12月24日（火） 各地区の目標達成に向けた状況確認、生活・介護支援サポーターの地域展開について
- ・生活支援体制整備事業講演会の開催
 - 12月 9日（月） 基調講演「できることを考えよう！さらに地域の絆を深めるために！」
 - 講師 全国コミュニティライフサポートセンター
理事長 池田 昌弘 氏
 - 参加者 112名

※第1層生活支援コーディネーターとは、富士市域全域の福祉活動団体を組織化し、支援を必要としている人への働きかけや、助け合い組織立ち上げ支援、行政への働きかけ、施策提言をおこなう人

（2）地域包括ケア体制の構築に向けた地域支援

生活支援・介護予防に関する地域支援や地域住民主体の支え合い・助け合いがあふれるまちづくりのため、※第2層生活支援コーディネーターと協働し各地区担当職員も地域資源の育成・活動支援を行った。

- ・各地区地域ケア会議、個別ケア会議への参加

※第2層生活支援コーディネーターとは、小学校区を単位として、生活支援のニーズ把握や社会資源の把握、サービスの開発を地域住民と共におこなう人

【ボランティア活動育成事業】

（1）ボランティアセンター運営事業

ボランティアセンター利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
開館日	27	25	29	29	28	27	26	27	27	26	28	30	329	330
利用者数	413	561	520	638	391	470	457	551	480	431	427	219	5,558	5,493
1日平均	15.3	22.4	17.9	22.0	14.0	17.4	17.6	20.4	17.8	16.6	15.3	7.3	16.9	16.6

①ボランティアのニーズ調整

- ・ボランティア対応 194件（延べ 551人）

【地域福祉活動計画による令和元年度の主な取組目標】

①相談件数 250件

【実績】

①相談件数 314件

内訳	ボランティア活動希望	45件
	ボランティア依頼	269件

②ボランティア保険

- ・加入者数 3,386人
- ・事故対応 2件

③富士市ボランティア連絡会

連絡会は、加入しているボランティアグループで組織し、情報交換をはじめ、ボランティアに関する研修を実施した。

- ・毎月第1金曜日 定例会開催

【地域福祉活動計画による令和元年度の主な取組目標】

①登録団体 60団体

【実績】

①登録団体 42団体（登録者数 443人）

④ボランティア団体への助成

- ・ボランティア連絡会助成 300,000円
- ・災害ボランティア連絡会助成 200,000円

(2) 車いす移送車両運行事業

①移動支援

車いす使用者の通院・リハビリ等にリフト付ワゴン車で送迎を行うサービスを実施した。

- ・利用件数 269件
- ・走行距離 12,059km
- ・利用登録者数 36人
- ・移送ボランティア登録者数 52人
- ・延べ活動者数 953人

②車いす移送車両貸出

車いす使用者に対して、移送車両を貸出し、社会参加の促進を図った。

- ・貸出件数 108件

③運転ボランティア研修会

車いす移送車両運行事業の説明及び交通安全講習、また、ボランティア間の交流を深める目的で研修会を開催した。

- ・開催日 6月29日(土)、7月6日(土) (全2回)
9:00~12:00
- ・内容 中央自動車学校協力による、運転指導・誘導方法の講習
- ・参加者 23人(新規参加者8人・移送ボランティア登録者11人・
障害サービス室職員4人)

(3) 企業の地域貢献・社会貢献活動への協力

富士市内外の事業所による地域貢献・社会貢献活動の推進に対して連携及び協力を図るため、活動に係る連絡や調整を行った。

- ・対象企業及び事業所 10社

【地域福祉活動による令和元年度の主な取組目標】

- ①支援企業 2社

【実績】

- ①支援企業 10社

(4) ふじおもちゃ図書館の運営

ハンディキャップのあるなしにかかわらず、おもちゃを通しての交流の場として開館した。

- ・開館日 火・木・土曜日 10:00~12:00
日曜日 10:00~12:00
13:00~15:00
- ・協力団体 ふじおもちゃ図書館ボランティア 38人
- ・会場 ふじおもちゃ図書館(富士市フィランセ東館4階)

利用状況

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年同期
利用者数	271	243	370	510	452	434	333	368	297	355	402	0	4,035	4,192

※3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、臨時休館

<貸館>

ふじおもちゃ図書館閉館時に、障がい児（者）及び団体に託児や交流のスペースとして貸し館を行った。

利用状況

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年同期
利用者数	216	166	160	259	356	109	145	126	259	143	149	0	2,088	2,888

※3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、臨時休館

(5) 富士市災害ボランティア連絡会

災害時におけるボランティア活動がスムーズに行えることを目的に、災害ボランティア連絡会を組織し、定例会での情報交換をはじめ研修や災害ボランティア支援本部開設訓練等を実施した。

・加入団体 11団体

富士市災害救援バイク隊『ペガサス』
 富士市アマチュア無線非常通信協力会
 災害ボランティアコーディネーター富士
 静岡県市町村職員年金者連盟富士市支部
 富士市ボランティア連絡会
 静岡県看護協会富士地区支部
 富士R B
 富士市まとい会
 家具やしめ隊
 富士市赤十字奉仕団
 常葉大学ハルジオン

・災害ボランティア支援本部開設訓練

開催日 1月18日（土） 13：00～15：30（準備訓練）
 19日（日） 7：30～12：00

（ボランティア受入訓練 他）

場 所 富士市フィランセ、富士川ふれあいホール（情報訓練のみ） 他

内 容 災害時を想定したボランティア受入訓練、防災用品の展示、
 蒲原災害VC・由比災害VCとの情報訓練 他

参加者 250名（スタッフ含）

(6) 家具固定ボランティア講座

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止。

(7) 音訳ボランティア養成講座

視覚障がい者の情報手段の拡充や自立と社会参加の支援をするための音訳に携わるボランティアのスキルアップを図るための講座を開催した。

- ・開催日 1月15日(水)、22日(水)、29日(水)
2月5日(水)、12日(水) (全5回)
- ・内容 現在活動中の音訳ボランティア5グループがグループ別に日程を分け、音訳基礎技術を再確認し、実技の向上や現状の把握、課題の解決を目的に講座を開催した。
- ・参加者 29人

(8) 声の広報事業

ボランティアグループの協力により、月2回発行される「広報ふじ」や「警察だより」「市議会だより」等をCD及びテープに吹き込み視覚障がい者に情報提供した。

- ・利用者 27人
- ・協力団体 5団体(やまびこ5月号・20月号、すみれ、C3PO、秋桜)

(9) 託児ボランティア養成講座

託児ボランティアの基礎的なことや子どもたちとの楽しい遊び方、子どもの障がいや発達についての基本を学ぶ講座を開催した。

- ・開催日 9月4日(水)、11日(水) (全2回)
10:00~12:00
- ・内容 子どもとの接し方や遊び方、託児ボランティアとの交流会、託児ボランティアの必要性、ボランティア活動について、託児ニーズの紹介
- ・参加者 15人

(10) 初級ボランティア講座

ボランティア活動に興味のある方、これからボランティア活動を始めようと考えている方、ボランティア活動を既に行っている方を対象とし、ボランティアに関する知識を講座で学び、また、実際に活動を行っている方からの話をとおして、ボランティア活動を始めきっかけづくりや、更なる活動の輪を広げることを目的として初級ボランティア講座を開催した。

・開催日 6月26日(水)

9:30～11:15

・内容 講演「ボランティアとは」

講師 特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会

常務理事 鳥羽 茂 氏

活動紹介

家具固定ボランティア、傾聴ボランティア、移送ボランティア

音訳ボランティア、おもちゃ図書館ボランティア、特技ボランティア

・参加者 33人

(11) 福祉教育の推進

①福祉人材育成事業

これからの福祉事業に携わる人材の定着及び確保を目指し、広く福祉に関する啓発を行うための福祉人材育成事業に取り組んだ。

<実行委員会>

・内容 本会と市内の各関係機関との連携及び協働による事業計画立案のための実行委員会を設置し、実施内容の検討を行った。

・開催日 8月7日(水)、12月10日(火)、(全2回)

・委員数 7人

<研修会>

・開催日 12月10日(火) 13:30～16:00

・会場 富士市フィランセ西館4階大ホール

・内容 講義「個人と組織がともに成長するチームづくり」及びグループワーク

・講師 社労士オフィスロード 代表 大道和哉 氏

・対象者 社会福祉施設等の職員

・参加者 30人

<ワークショップ>

- ・開催日 2月1日(土) 13:30~16:00
- ・会場 富士駅北まちづくりセンター
- ・内容 講義「主人公を探してみようー現場で働くみなさんが描く「理想の福祉のあり方」とは?ー
- ・講師 社労士オフィスろーど 代表 大道和哉 氏
- ・対象者 社会福祉施設等の職員
- ・参加者 20人

②夏休み福祉なんでも学習

夏休みの自由研究の課題や福祉全般についての学習のヒントとなる体験型学習会を開催した。

- ・開催日 8月3日(土) 9:00~12:00
- ・会場 富士市フィランセ東館
- ・内容 福祉・ボランティアに関する資料提供や疑似体験
- ・参加者 195人(来場者 147人 ボランティア 48人)

③富士市福祉教育担当者連絡会の開催

社協から提供できるプログラム等の紹介や、地域と学校、施設等がそれぞれに連携し、地域が一丸となってまちづくりを進めていくため、地域共生社会における福祉教育のあり方・視点を学ぶことを目的とし連絡会を開催した。

- ・開催日 7月17日(水) 15:00~16:30
- ・内容 講演「今求められる福祉教育とは」及び意見交換
- ・講師 静岡福祉大学 福祉心理学科 准教授 渡邊英勝 氏
- ・対象者 市内各小学校・中学校の福祉教育・ボランティア学習担当教諭等
- ・参加者 18人

④福祉体験(車いす、アイマスク等)や福祉講話の実施

福祉教育を積極的に推進するため、学校単位・クラス単位および福祉施設において、体験学習や福祉に関する講話・相談等を行った。

- ・8校 1施設 市内小中学校・高校・養護老人ホーム等にて

⑤福祉体験機材の貸出

福祉の心を育むための体験用として疑似体験機材を貸し出した。

	車いす	アマスク	アマスク・白杖	シニア	右マヒ	点字盤	ボッチャ	触感体験
個数	229	115	219	133	43	280	47	11
回数	34	9	15	20	10	10	31	8

内訳	学 校	22
	地 区	33
	施 設	16
	その他	17

⑥福祉図書コーナーの運営

フィランセ東館3階市民交流フロアに福祉図書コーナーを置き、図書等の貸出を行った。

- ・図書等の貸出

福祉図書 12冊 ビデオ・DVD 24件

CD 8件

- ・貸出利用券新規発行者数 14人

【福祉相談事業】

(1) 結婚相談

結婚相談員による結婚に関する相談及び交際の仲立ち（引き合わせ）を行った。また、6月～8月の期間には日中仕事で来所出来ない方のために、夕方相談を実施した。

- ・開所日 毎週水曜日、毎月第1・第3土曜日、第2・第4日曜日
- ・相談状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
開催日数	8	7	8	9	6	8	9	9	8	7	5	8	92	92
相談件数	440	409	330	522	346	439	430	354	316	278	319	322	4,505	5,425

- ・登録者数 1,172人（前年1,016人）
- ・引き合わせ組数 201組（前年255組）
- ・引き合わせ成立組数 95組（前年127組）
- ・結婚成立件数 11組（前年3組）
- ・出会いふれあいパーティー 計2回 参加者 56人
- ・協働事業「しあわせ Sweet 出逢いパーティー」 参加者 53人

(2) 福祉相談室の運営

フィランセ東館1階の就労総合支援センターとリンクして、従来の福祉相談事業と併せた総合的なサービスを市民に提供するため、相談員1名を配置。月曜日から金曜日まで、福祉・生活に関わる初期相談に応じ、直接来所できない方のために電話相談（64-3294）を行った。さらに専門的な相談に対しては関係機関と連携を密にしながら対応した。

<相談状況>

相談件数	712件			
<内訳>	来所相談	116件	電話相談	595件
	その他	1件		

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
相談件数	75	61	59	70	53	50	61	57	50	60	52	64	712	865

相談内容	件数	前年
福祉サービス等の利用相談	8	7
自立生活についての相談	71	51
家庭生活についての相談	83	93
教育に関する相談	0	4
就労に関する相談	47	40
医療・健康に関する相談	17	24
虐待に関する相談	4	4
その他	512	669
合計	742	892

※重複回答あり

【援護事業】

(1) 罹災世帯援護事業

火災に遭われた罹災世帯に対し見舞い金を支給した。

・全焼	6件	180,000円
・半焼	1件	20,000円

(2) 緊急一時援護事業

低所得世帯等で、緊急に援助を要する世帯に対し、世帯の自立更生に繋がるよう5万円を限度に援護を行った。

・生活援護	4件	105,000円
-------	----	----------

(3) 児童援護事業

- ・低所得世帯小中学校入学支度費支給 1,670,000円
- ・低所得世帯小中学校修学旅行支度費支給 2,608,000円
- ・児童遊び場設置費助成 150,000円

<児童福祉団体への助成>

- ・子ども会世話人連絡協議会助成 300,000円
- ・静岡県児童福祉施設球技大会助成 30,000円

(4) 障害者援護事業

①福祉機器リサイクル事業

高齢者などの在宅生活の支援、社会参加の促進、家庭介護の軽減を図ることを目的に、不用となった福祉機器を無償で提供していただける方と譲り受けたい方とのリサイクル情報の橋渡しを行った。

- ・対象 不用になった福祉機器を譲りたい方
お年寄りなどで福祉機器を必要とする方
- ・費用 無料（運搬・修理に関する費用は譲り受ける方が負担）
- ・物品 福祉機器・介護用品（直接身体に触れる物品は未使用のもの）
- ・実績 譲ります情報 35件 求めます情報 39件 成立 34件

②車いす短期貸出事業

病気やケガ及び旅行等、短期間(2週間)車いすを必要とする方へ貸出を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
貸出件数	24	19	19	23	27	27	29	21	31	30	17	14	281	274

③障がい者福祉団体への助成

- ・手をつなぐ育成会運営助成 300,000円
- ・身体障害者福祉会運営助成 200,000円
- ・視覚障害者福祉会運営助成 50,000円
- ・聴覚障害者協会運営助成 50,000円
- ・福祉団体スポーツレクリエーション大会助成 30,000円

(5) 高齢者援護事業

①敬老会への助成

- ・敬老会助成 一人あたり180円 対象人数 30,904人
5,562,720円

②家族介護者交流事業

在宅において、寝たきり高齢者や認知症高齢者を介護している方々の親睦を図るとともに、日頃の介護の疲れを癒すことを目的に開催した。

<介護おしゃべりカフェ>

第1回 9月28日(土)

「やさしい絵手紙レッスン～心のこもった一枚を～」 参加者17名

第2回 10月12日(土)

※大型台風接近に伴い、中止

第3回 11月 2日(土)

「くつろぎのコンサート～マリンバで感じる秋の音～」 参加者19名

第4回 2月 9日(日)

「80歳までスキップ!身体スッキリ体験教室」 参加者24名

③高齢者福祉団体への助成

- ・悠容クラブ連合会助成 200,000円
- ・認知症の人と家族の会助成 100,000円
- ・在宅介護者家族の会助成 50,000円

(6) 交通遺児援護事業

- ・交通遺児等育英奨学金支給 780,000円
- ・交通遺児等育英奨学生 進級祝 25,000円

【共同募金運動】

(1) 赤い羽根共同募金運動

この運動は、毎年多くのボランティアの方々に支えられ、令和元年度は次のとおり募金をいただいた。これらの募金は、民間社会福祉事業の充実向上、健康で安心して暮らせる福祉のまちづくりのための事業に活用されている。

・実施期間 10月1日 ～ 12月31日

・協力団体 町内会(区長会)、民生委員児童委員協議会、他諸団体

区分	目標額	実績額
町内募金	14,700,000円	14,713,100円
篤志・法人募金	7,230,000円	5,931,000円
街頭募金他	1,700,000円	1,795,172円
合計	23,630,000円	22,439,272円

(前年同期 22,387,691円)

(2) 歳末たすけあい運動

この運動は、赤い羽根共同募金運動の一環として行われるもので、「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに、低所得世帯等が安心して新年を迎えることができるよう配分を行った。

<配分結果>

- ・低所得世帯（生活保護世帯は除く）

548世帯	1,427人	8,809,000円	
ねたきり	16人	認知症	10人
重度心身障がい児(者)	53人	両親のいない児童	16人

- ・福祉施設利用者

施設	5カ所	里親	11世帯	計	79人
					640,000円
		合計			9,449,000円

<募金結果>

・会社職域関係	610,997円
・団体関係	381,479円
・学校関係	61,359円
・個人	493,026円
・たすけあい袋	7,957,904円
合計	9,504,765円

【生活困窮者自立相談支援事業】

フィランセ東館1階に生活課題を抱えた市民からの相談に早期かつ包括的に応ずるくらし・しごと相談窓口を開設。3名の相談員（社会福祉士）を配置し相談者の抱えている問題を適切に評価・分析し、その課題を踏まえた「自立支援計画」を相談者本人と共に作成して、相談者の生活の立て直しに向けた支援を行った。また市役所生活支援課へ職員を派遣し、スムーズな相談援助が進むように連携しながら事業運営を行った。事業の周知に関して、チラシを配布し市民への情報提供を行った。

また、ユニバーサル就労支援事業の初期相談の窓口としてユニバーサル就労支援センターへ相談を繋ぎ、併せて同センターと連携しながら相談者の就労支援を行った。

<相談状況>

相談件数 1, 890件

<内訳> 男性 1, 261件

女性 629件

来所 937件

電話 733件

メール 19件

訪問 171件

同行 30件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
相談者数(実人数)	70	95	125	135	119	125	108	97	109	115	82	132	1,312	841
新規相談者数	30	43	52	58	44	39	33	36	31	45	26	51	488	339

相談内容	件数	支援内容	件数
病気や健康、障害のこと	556	食料支援	446
家賃やローンの支払いのこと	496	住居確保給付金	182
仕事探し、就職について	875	一時生活支援	90
家族との関係について	251	福祉資金貸付	163
ひきこもり・不登校	53	就労支援	160
住まいについて	595	就労準備支援	96
税金や公共料金等の支払について	529	学習支援	1
仕事上の不安やトラブル	165	生活保護	323
子育てのこと	94	緊急援護費支給	11
DV・虐待のこと	14	他法紹介	447
収入・生活費のこと	1,106	家計相談支援	25
債務について	238	相談のみ	395
介護のこと	44	マザーズコーナーへのつなぎ	23
地域との関係について	14	ユニバーサル就労へのつなぎ	59
食べるものがない	424	合計	2,421
その他	92		
合計	5,546		

※重複回答あり

【貸付事業】

(1) 高額療養費等資金貸付事業

国保加入者で高額な医療費の支払に困っている方に、高額療養費等資金の貸付を行った。

・貸付	182件	13,737,915円
＜内 訳＞		
1. 高額療養費	124件	12,643,483円
2. 重度医療費	47件	611,300円
3. 母子医療費	11件	483,132円

(2) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯の生活意欲を助長し、その自立更生を図ることを目的に県社協の審査を経て生活福祉資金等の貸付を行った。

・教育支援資金	6件	1,172,000円
・福祉資金	1件	607,000円
・総合支援資金生活支援費	1件	384,000円
合 計	8件	2,163,000円

新型コロナウイルス感染症に伴い、休業や失業により減収した方を対象に生活費の貸付を特例的に行った。

・緊急小口資金特例貸付	21件	3,400,000円
-------------	-----	------------

(3) 小口資金貸付事業

低所得世帯を対象に、一時的に必要な生活資金を5万円を限度に無利子にて貸付け、世帯の自立支援を行った。

・貸付	12件	340,000円
-----	-----	----------

行政と連携し、新たに決定した生活保護世帯に対し生活保護費初回支給日までの生活費等の資金を5万円を限度に無利子にて貸付、切れ目のない支援を行った。

・貸付	82件	2,922,718円
-----	-----	------------

【日常生活自立支援事業】

住み慣れた地域で安心して暮らせるように、福祉サービス利用の援助や日常生活に必要なお金の出し入れ、福祉サービスの利用料・公共料金などの支払いを支援した。専門員4名 生活支援員38名で対応。

- ・利用対象 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で、自身の判断能力に不安のある方
- ・援助内容 福祉サービスに関する情報提供、利用手続きの代行
日常的な金銭管理の支援、重要書類等の預かり

区 分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計	前年
問合せ件数	4 4 2	3 2 1	2 5 6	9 5 3	1, 9 7 2	
初回相談件数	2 6	1 5	6	8	5 5	2 9
相談援助件数	1, 4 6 2	2, 1 5 4	1, 5 0 9	7 0 3	5, 8 2 8	7, 2 2 1
現契約件数	1 3	2 9	1 5	1 0	6 7	6 5

【地域福祉活動計画による令和元年度の主な取組目標】

①利用契約件数 9 0 件

【実績】

①利用契約件数 6 7 件

内 訳	認知症高齢者	1 3 件	知的障害者	2 9 件
	精神障害者	1 5 件	その他	1 0 件

【成年後見支援センター事業】

(1) 成年後見事業

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない人が成年後見制度を的確に利用できるよう支援を行い、これらの人の権利を尊重し擁護することにより地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度の利用促進を図ることを目的として相談援助を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
相談件数	5	14	21	18	26	13	21	12	14	24	9	20	197	203

【地域福祉活動計画による令和元年度の主な取組目標】

①相談件数 2 3 0 件

【実績】

①相談件数 1 9 7 件

<成年後見制度講演会>

- ・日 時 1 1 月 9 日 (土)
- ・講 師 渡辺哲雄 さん
- ・演 題 「認知症になった波平さん」～契約社会と成年後見～
- ・参加者 1 3 1 名

<普及啓発>

項 目	内 容	活動先及び件数
成年後見制度に関する 広報・啓発	各種団体主催の後見制度に関する 勉強会、研修会での講演 広報紙、ラジオによる取材	介護専門員基礎研修、 ふれあい・いきいきサロン 他 計 1 0 件

市民後見人養成研修等講師	県内の各市町主催の市民後見人養成研修等での講師	焼津・磐田・三島・御殿場 ・菊川市圏域 計5ヶ所
関係機関との意見交換会	家裁富士支部と包括との意見交換 静岡県家事機関連絡会	家裁富士支部

(2) 市民後見事業

<市民後見人の研鑽>

市民後見人候補者35名が日常生活自立支援事業生活支援員として活動を行いながら、身上保護及び財産管理の実際を通じて利用者支援に協力いただいた。

センターはその援助を行い候補者のサポートを行った。

<市民後見人候補者継続研修>

第1～3回市民後見人候補者37名が日常生活自立支援事業の生活支援員となり、引き続き研鑽を積んで行くことになり、そのフォローアップ、モチベーション維持のために継続研修を開催した。

開催日：5月・8月・11月・2月開催（全4回）

内 容：金融機関から見える成年後見制度利用について

改正相続法

最近の葬儀事情と成年後見人による最期の対応事例

<市民後見人受任調整会議>

上記名簿登録者の中から適切な者2名を推薦した。

<市民後見人誕生>

市内で3人目（保佐人）と4人目（後見人）の市民後見人が選任された。

<監督人>

上記2名の市民後見人監督人として社協が選任され、合計4名の監督人となった。

【法人後見事業】

<成年後見等審査委員会>

3回開催 3名の案件を協議しいずれも受任可となった。

<法人後見人受任>

家庭裁判所、行政と協議を重ね、市民後見を見据えた法人後見を4件新たに受任した。合計7件受任中（累計13件）

【地域福祉活動計画による令和元年度の主な取組目標】

①受任件数 5件

【実績】

①受任件数 4件

【介護サービス事業】

(1) 介護保険関連事業

①居宅介護支援事業

- ・利用者延べ人数 3,859 人
(事業対象者…266 人 要支援…978 人 要介護…2,615 人)
- ・利用者内訳 事業対象者…266 人(6.9%) 要支援 1 …357 人(9.3%)
要支援 2 … 621 人(16.1%) 要介護 1 …867 人(22.5%)
要介護 2 … 877 人(22.7%) 要介護 3 …501 人(13.0%)
要介護 4 … 221 人(5.7%) 要介護 5 …149 人(3.9%)
- ・介護認定調査 152 件 (富士市…92 件、富士市以外…32 件、県外…28 件)

②訪問介護事業

- ・利用者訪問延べ回数 7,454 回
(事業対象者…269 回 要支援…1,197 回 要介護…5,988 回)
- ・利用者内訳 事業対象者…269 回(3.7%) 要支援 1 … 283 回(3.8%)
要支援 2 … 914 回(12.3%) 要介護 1 … 701 回(9.4%)
要介護 2 …1,813 回(24.3%) 要介護 3 …2,165 回(29.0%)
要介護 4 … 376 回(5.0%) 要介護 5 … 933 回(12.5%)

③通所介護事業 (富士川デイサービスセンター)

- ・開所日数 309 日
- ・利用延べ人数 12,496 人
(事業対象者…727 人 要支援…797 人 要介護…10,972 人)
- ・利用者内訳 事業対象者…727 人(5.8%) 要支援 1 … 223 人(1.8%)
要支援 2 … 574 人(4.6%) 要介護 1 …4,486 人(35.9%)
要介護 2 …3,438 人(27.5%) 要介護 3 …1,930 人(15.4%)
要介護 4 … 874 人(7.0%) 要介護 5 … 244 人(2.0%)

(2) 障害福祉サービス事業

①居宅介護

- ・利用者数 36 人
- ・延派遣回数 4,264 回
- ・延派遣時間数 4,986 時間 05 分

②同行援護

- ・利用者数 25 人
- ・延派遣回数 981 回
- ・延派遣時間数 3,070 時間 20 分

③移動支援

- ・利用者数 8 人
- ・延派遣回数 252 回
- ・延派遣時間数 390 時間 30 分

【障害者就労支援施設等の運営】

(1) 就労継続支援B型事業所・生活介護事業所の運営

障害者就労支援施設・生活介護事業所を運営し、利用者に対し、生産活動や創作的活動の機会を提供するとともに、社会生活を営む上で必要となる支援を行った。市民ふれあいバンクでも送迎サービスを開始し、竹の子、ふじひろみ、ひめな、ふじばら作業所、まつぼっくり、鷹身工芸社、吉原つくし（生活介護）と合わせ、8事業所で送迎サービスを実施している。また、職員の資質向上を目的とし、研修を実施した。

- ・利用者人数 159名 男性 84名 女性 75名
- ・平均年齢 約41歳 最高齢 72歳 最年少 17歳
- ・月平均工賃 14,360円
- ・最高事業所 28,403円
- ・最低事業所 8,616円（生活介護以外の事業所）

単独型事業所（指定就労継続支援B型事業所） *利用者数は3月31日現在

事業所名	開設年月日	利用者数	主な自主製品等
竹の子	S63.4.1	20人	手作り石けん ビーズ製品
ひめな	H8.10.1	16人	縫製品 苔玉
ふれあいショップ あゆみ	H1.10.1	10人	手作りパン ラスク各種
ふじひろみ	S53.6.1	12人	ぼかし ぷくぷく（入浴剤） 縫製品

市民ふれあいバンク	S58. 8. 1	1 8 人	手作り石けん リサイクル品回収販売
鷹身工芸社	S59. 8. 1	2 0 人	トールペイント 花の苗作り ぼかし 縫製品
ふじばら作業所	H1. 4. 1	1 8 人	ふじ山キャンドル ぼかし 陶芸品 ボタニカルキャンドル
まつぼっくり	H13. 4. 1	1 2 人	手作り洋菓子（クッキー等）

多機能型事業所（指定就労継続支援B型事業所及び指定生活介護事業所）

事業所名	開設年月日	利用者数	主な自主製品等
吉原つくし	<継続>	<継続>	手染め製品 名刺印刷
	S55. 4. 7	2 1 人	
	<生活介護>	<生活介護>	しおり
H23. 5. 10	1 2 人		
		計 3 3 人	

・就労継続支援B型事業所・生活介護事業所全体で取り組んだ主な研修

- 6月26日 福祉講話 58人
- 9月26日 ダウン症について 60人
- 10月 9日 虐待防止・権利擁護について 37人
- 10月23日・25日 特別支援学校見学 10人
- 11月14日・15日 県知協生産活動・就労支援部会研究集会 41人
- 11月25日 感染症対策について 15人
- 1月16日 介護保険制度について 23人
- 2月 4日 図書装丁作業体験 11人

（2）生活介護事業所の移転新築

国・県・市の補助金を受け、生活介護・吉原つくしの広見地区への移転新築に取り組んだ。9月に着手した工事は順調に進み、2月末に新しい施設が完成した。新たな生活介護事業所の名称は「オリーブの丘」と決まり、4月から定員20名でのスタートとなる。

(3) 特定相談支援事業

障害者就労支援施設等の利用者や、その家族が障害福祉サービスを適切に利用する為のサービス等利用計画作成をはじめとした相談支援事業を実施した。

【地域福祉活動計画による令和元年度の主な取組目標】

①契約件数 220件

【実績】

①契約件数 228件

内訳 社協障害者就労支援施設・生活介護事業所利用者 155人
その他（社協居宅介護利用者・他事業所利用者） 73人

【社会福祉センターの運営】

富士市からの指定管理者として社会福祉センター（広見荘、田子浦荘、東部市民プラザ、鷹岡市民プラザ）の管理を行い、高齢者をはじめ市民の健康増進や憩いの場として提供した。また、下記事業を新規に行った。

・送迎サービスの導入

社会福祉センター4館のうち、交通の便の悪い東部市民プラザにおいて障害者就労支援事業所まっぼくりの送迎車両を有効利用し、送迎サービスを実施して施設の利用促進を図ることを目的に、8月より試験的に実施した。

・ヘルストロンの入替え

経年劣化により老朽化しているヘルストロンを、利用者が安全に利用することができるよう新機種と入替を行った。

利用状況

項目	広見荘	田子浦荘	東部市民 プラザ	鷹岡市民 プラザ	合計	前年
高齢者	33,560人	34,661人	29,654人	22,906人	120,781人	132,701人
障がい者	150人	304人	616人	111人	1,181人	1,124人
児童	452人	1人	0人	6人	459人	290人
その他	497人	91人	6,408人	11,920人	18,916人	19,373人
合計	34,659人	35,057人	36,678人	34,943人	141,337人	153,488人
開館日数	254日	254日	254日	254日	254日	281日
1日平均利用者数	136人	138人	144人	138人	556人	546人

※2月29日から3月末日まで、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、臨時休館

【生きがいデイ・健康づくりデイサービス事業】

(1) 生きがいデイサービス

在宅で閉じこもりがちな高齢者を対象に、自立生活の支援及び社会参加の促進を

図ることを目的に生活指導・介護予防体操・レクリエーション等のサービスの提供を行った。

・実施場所	健康クラブ	(広見荘 毎週水・金)
	元気クラブ	(田子浦荘 毎週火・木)
	あったかクラブ	(鷹岡市民プラザ 毎週木・土)
	うららかクラブ	(富士川地域福祉センター 毎週火・水・木・金)
・開所日数	健康クラブ	91日
	元気クラブ	85日
	あったかクラブ	88日
	うららかクラブ	193日
・延利用者数	健康クラブ	657人
	元気クラブ	693人
	あったかクラブ	720人
	うららかクラブ	1,072人

※2月29日から3月末日まで、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、臨時休業

(2) 健康づくりデイサービス

要支援状態等にある高齢者を対象として、自立生活の支援及び社会参加の促進を図ることを目的に、介護予防サービス計画または介護予防ケアマネジメントの内容に沿って、生活指導・介護予防体操・レクリエーション等のサービスの提供を行った。

・実施場所	健康クラブ	(広見荘 毎週水・金)
	元気クラブ	(田子浦荘 毎週火・木)
	あったかクラブ	(鷹岡市民プラザ 毎週木・土)
	うららかクラブ	(富士川地域福祉センター 毎週火・水・木・金)
・開所日数	健康クラブ	91日
	元気クラブ	85日
	あったかクラブ	88日
	うららかクラブ	193日
・延利用者数	健康クラブ	91人
	元気クラブ	98人
	あったかクラブ	8人
	うららかクラブ	1,156人

※2月29日から3月末日まで、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、臨時休業

【その他の事業】

(1) 社協災害対策事業

①社協災害対策本部開設訓練

非常時対応に備えて、「災害ボランティア支援本部開設訓練」と並行して、社協災害対策本部の開設訓練を行った。また、関係機関と共に連携し、一日も早い市民生活の復旧と、そのために必要な支援とサービスが提供できる社協の体制づくりを進めた。

- ・実施日 1月18日(土)、19日(日)
- ・参加職員 社協事務局、介護・障害サービス事業所、
- ・内容 職員安否確認(安否確認メールシステムによる確認)、
BCPを用いた初動対応確認、
フィランセ内、出先事業所の被害状況確認

②BCP(事業継続計画)の策定

大規模災害が発生した際に、事業の速やかな再開・継続が行えるよう、事業継続計画を策定した。併せて、計画策定の為のワークショップを開催した。

- ・開催日 7月5日(金)、2月6日(木)
- ・内容 各出先事業所のBCPについて、グループワークを通して現場職員の意見を反映させながら、検討・作成・修正を行った。

(2) 被災地支援に伴う職員派遣

①千葉県富津市被災地支援

9月の台風15号等により、大きな被害を受けた千葉県内の被災地支援活動として、静岡県社協から県内市町社協を対象にした派遣要請を受け、本会からは職員2名を派遣し、災害ボランティアセンターの運営を支援した。

- ・派遣期間 10月 5日～ 9日
10月14日～18日

②長野県長野市被災地支援

10月の台風19号により、大きな被害を受けた長野県内の被災地支援活動として、静岡県社協から県内市町社協を対象にした派遣要請を受け、本会からは職員3名を派遣し、緊急小口資金特例貸付業務及び災害ボランティアセンターの運営を支援した。

- ・派遣期間 11月18日～22日 緊急小口資金特例貸付業務支援
11月30日～12月4日 災害ボランティアセンター運営支援

(3) 実習受入

社会福祉向上と福祉教育の一環として、学生等を対象に福祉実習の受入を行った。

・実習受入数	43人
（内訳）社会福祉士相談援助実習	2人
看護師実習	40人
保育士実習	1人

(4) 視察受入

当会の実施している諸事業について、概要説明や施設見学を行った。

・視察等受入	1件
6月14日（金）	浜松市浜北区浜北第一地区民生委員児童委員 「富士市社協の地域福祉事業と民生委員児童委員の 関わりについて」
・市公共施設見学受入	5件

(5) 富士市介護保険事業者連絡協議会の支援

介護保険事業者が相互の連携と、サービスの総合的な質の向上を行うことを目的に各種研修会を実施し、その事務局役割を担っている。

(6) 人事評価制度の実施

すべての職員が業績評価及び能力評価シートを作成し、上司との面談をとおして適正な目標を設定し、モチベーションを高め、組織の活性化及び市民福祉の向上を目指した。

(7) 法人設立50周年記念事業の開催準備

2020年度に法人設立50周年を迎えるに当たり、記念式典の開催及び記念誌の発行等、記念事業の企画を行うため、前年度に引き続き実行委員会を開催し、準備を進めた。また各種広報関係印刷物、文書等に記載する「50周年記念シンボルマーク」を一般募集、「福祉の標語」を市内の小中学生を対象に募集し、マークは合計10作品、福祉の標語は418人から670作品の応募があり、それぞれ最優秀賞1名、優秀賞3名が選ばれた。（採用作品は本報告書の表紙に記載）

・実行委員会	4回開催
・編集委員会	6回開催

【社協会費・寄附金の募集】

(1) 社協会費

6月を社協会員募集月間に定め、各世帯よりいただく普通会費、篤志家よりいただく特別会費、福祉団体及び福祉施設・福祉事業所から団体施設会費として、ご協力をいただいた。

- ・協力団体（敬称略） 町内会（区長会）、民生委員児童委員協議会、他諸団体
- ・実施状況

区 分	金 額	実績額
普通会費	各世帯 300円	23,760,800円
特別会費	個人・企業・法人 1000円以上	6,123,000円
団体施設会費	福祉施設・団体 1000円以上	340,000円
合 計		30,223,800円

(前年同期 30,452,600円)

(2) 寄附金

社会福祉協議会への寄附者は、下記のとおりです。

1. 一般寄附

(敬称略・単位 円)

月	氏名	金額	月	氏名	金額
4	「富士の型染」グループ	73,350	8	匿名	3,000
	鈴木政義	10,000		鈴木政義	10,000
	宗清倶楽部杯チャリティーゴルフ	12,800		静岡県富士見中学校・高等学校 生徒会・PTA	50,000
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
5	鈴木政義	10,000	9	吉原聖母幼稚園	20,000
	匿名	1,550		富士市建設業組合	100,000
	高木満寿美	30,000		匿名	9,000
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		鈴木政義	10,000
	匿名	40,000		菊池光男	300,000
	大石音楽事務所 信友会 大石のぶよし	50,000		中山芳則	300,000
6	鈴木政義	10,000		高木満寿美シャンソン教室門下生モンレーヴ	32,378
	匿名	5,000		妙祥寺 住職 遠藤文祥	15,000
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
7	妙祥寺 住職 遠藤文祥	15,000	10	川口晴美	10,000
	フォークダンスおのわ 代表 小野国江	118,000		鈴木政義	10,000
	西原文子	30,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
	鈴木政義	10,000		富士市立田子浦中学校PTA	14,000
	本市場中学PTA	5,000		中央静岡ヤクルト販売株式会社	100,377
	本市場子供会	5,000		田子浦親交会	100,377
	匿名	2,880	11	浮良富邇会	30,000
	富士見高校 清みず会	22,782		鈴木政義	10,000
	匿名	54,156		偕楽窯会	10,000
	匿名	300		須津地区まちづくり協議会	44,500
株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		富士市立高等学校 生徒会	120,000	

月	氏名	金額	月	氏名	金額		
11	富士マンドリンクラブ	40,600	12	青葉台地区まちづくり協議会	5,000		
	興亜工業株式会社 代表取締役社長 藏元正隆	100,000		東京六大学 富士山カレッジカップ	51,000		
	マックスバリュ東海株式会社 富士八幡町店	35,000		学校法人旭学園富士調理技術専門学校	41,765		
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		明石武彦	20,366		
12	ジヤトコ株式会社ユニット技術部	12,014		株式会社 夢グループ	8,170		
	株式会社コーチャョー 代表取締役 渡邊直	30,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		
	匿名	80,000		NPO法人楽しいことやら座	30,000		
	匿名	1,000,000		2	鈴木政義	10,000	
	諏訪部弘	24,000			匿名	4,428	
	匿名	10,000			匿名	6,000	
	鈴木政義	10,000			匿名	2,560	
	一色友和会	20,000			岩松北小学校5年4組一同	3,000	
	匿名	50,000	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博		10,000		
	ユニー株式会社小さな善意で大きな愛の輪アピタ富士吉原店店長社本重幸	66,598	3		一般社団法人岳南法人会	427,000	
	匿名	161,078			ジヤトコ株式会社CVT工場 工場長 鈴木優	70,000	
ADEKA労働組合	60,000	鈴木政義		10,000			
稲葉芳典	300,000	匿名		500,000			
株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000	蓮心寺 青山泰謙		36,616			
匿名	100,000	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博		10,000			
1	鈴木政義	10,000	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>90 件</td> </tr> <tr> <td>5,302,045 円</td> </tr> </table>			90 件	5,302,045 円
	90 件						
	5,302,045 円						
	宗清倶楽部杯チャリティーゴルフ	12,400					
	匿名	20,000					
ふじのふもとのこどもたちカレンダー製作実行委員会	10,000						

2. 社協各事業所への指定寄附

(敬称略・単位 円)

月	氏名	金額	月	氏名	金額
5	まる二 殿岡正美	9,830	2	富士市福祉事業協力会	1,000,000
	富士吉原ライオンズクラブ	50,000		まる二 殿岡正美	5,000
6	大石音楽事務所 信友会 大石のぶよし	37,983		富士吉原ライオンズクラブ	136,500
	富士駅南地区福祉推進会	32,295		富士岳南ライオンズクラブ	102,000
8	まる二 殿岡正美	5,670		富士タカオカライオンズクラブ	82,500
9	渡辺勝宣	20,000		富士中央ライオンズクラブ	78,000
10	吉永地区婦人会OG	10,000		富士マウントライオンズクラブ	72,000
11	元吉原地区町内会連合会 元吉原地区女性の会	43,370	3	大丸松坂屋百貨店労働組合静岡支部	69,834
	興亜工業株式会社 代表取締役社長 藏元正隆	100,000			
12	市民福祉まつり実行委員会	146,340	19 件		
1	富士岳南ライオンズクラブ	100,000	2,101,322 円		

3. 交通遺児指定寄附

(敬称略・単位 円)

月	氏名	金額	月	氏名	金額
6	富士地区貨物運送事業協同組合 理事 吉野正則	300,000	6	一般社団法人静岡県トラック協会 東部地区支部 富士分室 分室長 吉野正則	37,400
2 件					
337,400 円					